

HOSEI

2023年度学部生用

Study Abroad Handbook

2023 For Undergraduates /
HOSEI University Global Education Center

法政大学 海外留学の手引き 2023



法政大学 海外留学の手引き 2023

2023年度学部生用

法政大学グローバル教育センター
国際交流課 (市ヶ谷キャンパス大内山校舎2F)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL: 03-3264-9662 / FAX: 03-3264-4624

受付時間: 月～金 9:00～17:00 (11:30～12:30を除く) 土 9:00～12:00

<https://www.global.hosei.ac.jp>

法政大学グローバル教育センター発行

海外協定大学

(海外派遣プログラムのある協定大学)

ヨーロッパ

イギリス United Kingdom
シェフィールド大学 ●●
リーズ大学 ●●
ニューカッスル大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
サセックス大学 ●
ロンドン大学バークベック ●
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 ●
リヴァプール・ジョン・ムーア大学 ●
セントラル・ランカシャー大学 ●

アイルランド Ireland
ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

ドイツ Germany
バーデン＝ヴュルテンベルク・デュアル大学カールスルーエ ●
シュトゥットガルト工科大学 ●
ブレーメン大学 ●
ロイファナ・リュネブルク大学 ●

フランス France
リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ●●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
パリ大学 ●
ストラスブール大学 ●
サンジェルマン・アン・レー政治学院 ●
キャンパス・フランス ●
(サンティエヌヌ大学orグルノーブル大学にて実施予定)

スペイン Spain
ビック大学 ●
バルセロナ大学 ●
コルドバ大学 ●

イタリア Italy
カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●

オーストリア Austria
ウィーン大学 ●●

スイス Switzerland
サンクトガレン大学 ●

オランダ Netherlands
NHLステンデン応用科学大学 ●

チェコ Czech
チェコ工科大学 ●

デンマーク Denmark
オールボー大学 ●

スウェーデン Sweden
ブレーキング工科大学 ●

ロシア Russia
モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ●●
国立研究大学高等経済学院 ●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●

オセアニア

オーストラリア Australia
シドニー大学 ●
アデレード大学 ●●
ボンド大学 ●●●
オーストラリア・カソリック大学 ●●

ニュージーランド New Zealand
マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●

アジア

タイ Thailand
タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●

マレーシア Malaysia
マラヤ大学 ●
アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学 ●
UCSI大学 ●
プトラマレーシア大学 ●

韓国 Korea
延世大学 ●
徳成女子大学 ●
梨花女子大学 ●
ソウル市立大学 ●
ソウル大学経営学部 ●
韓国外国語大学 ●
建国大学 ●●
中央大学 ●

中国 China
上海外国語大学 ●●
中央民族大学 ●
首都師範大学 ●
山東大学 ●
北京師範大学 ●
北京語言大学 ●

台湾 Taiwan
國立中山大學 ●
淡江大学 ●●
國立政治大学 ●
元智大学 ●●
國立台灣師範大学 ●

香港 Hong Kong
嶺南大学 ●

フィリピン Philippines
南フィリピン大学 ●

ウズベキスタン Uzbekistan
タシケント国立東洋学大学 ●

北米

カナダ Canada
BCI学生交換プログラム (ケベック) ●
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ●●

アメリカ合衆国 U.S.A
トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学デイヴィス校 ●●
ボイシー州立大学 ●●●
サンディエゴ州立大学 ●●
ガステイバス・アドルフアス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●●
ウェストフィールド州立大学 ●
ポートランド州立大学 ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ●●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
ジョージ・メイソン大学 ●

中南米

メキシコ Mexico
グアダラハラ大学 ●

●派遣留学協定校 ●認定海外留学推奨校 ●SA(学部ごとに異なります。) ●短期語学研修

法政大学イベントカレンダー

	年度 学期	2023												2024		
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降
派遣留学	春	募集要項配布 プログラム説明会		6月上旬 6月下旬 7月下旬 願書受付 選考試験 合格発表			オリエンテーション		オリエンテーション	オリエンテーション		2月出発		ポンド大学のみ 4月出発		
	秋						募集要項配布 プログラム説明会	10月上旬 10月下旬 11月下旬 願書受付 選考試験 合格発表		オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション 8～9月出発
認定海外留学	春・秋						募集要項配布		春学期 認定海外留学 11月上旬～12月上旬 12月～1月 学部教授会審議 1月 合格発表		1～2月 オリエンテーション	2月出発		秋学期 認定海外留学 5月中旬～6月上旬 願書受付	6月～7月 学部教授会審議 7月 合格発表	8～9月出発
学部独自の 留学プログラム		各学部にて募集、選考、オリエンテーションを行っています。 詳細は各学部にお問い合わせください。														
短期語学研修	夏季 春季	4月中旬～ 募集要項配布 4月下旬～5月中旬 応募期間	5月中旬 7月上旬 オリエンテーション			8～9月 研修実施 期間は2～4週間	9月中旬～ 募集要項配布 9月下旬～10月中旬 応募期間			11月中旬 1月中旬 オリエンテーション		2～3月 研修実施 2～4週間				
ERP (英語強化プログラム)	春・秋 各学期 募集	春学期 4月初旬～ 募集要項配布 4月7日～13日 応募期間	4月 結果発表 4月上旬～7月下旬 プログラム受講				秋学期 7月～ 募集要項配布 9月下旬 応募期間	9月末 結果発表 9月下旬～1月下旬 プログラム受講			スプリング セッション 1月 募集要項配布 1月中旬 応募期間	1月末 結果発表 3月上旬～3月下旬 プログラム受講	夏季 期 4月初旬～ 募集要項配布 4月上旬 応募期間	4月中旬 結果発表 4月上旬～7月下旬 プログラム受講		
国際インターンシップ 国際ボランティア	夏季 春季	4月下旬～ 募集要項配布 ～5月末 応募期間	選考	7月中旬 オリエンテーション	8～9月 プログラム実施 期間は1～4週間	9月下旬～ 募集要項 配布 ～10月中旬 応募期間	選考			12～1月 オリエンテーション		2～3月 プログラム実施 期間は1～4週間				
HUBs (Hosei University Buddy System)	春・秋 各学期 募集				7月中旬～8月 募集 9月初旬 Buddy発表		9月中旬 空港出迎え・キャンパスツアー 秋学期中 留学生の生活サポート					2月中旬～3月 募集 3月中旬 Buddy発表		4月初旬 空港出迎え・キャンパスツアー 春学期中 留学生の生活サポート		
JLP日本語科目 授業ボランティア	春・秋 各学期 募集	4月上旬～ 4月中旬 募集	決定後～7月中旬 各担当授業内で授業運営サポート				9月中旬～ 9月下旬 募集	決定後～1月中旬 各担当授業内で授業運営サポート						4月上旬～ 4月中旬 募集	決定後～7月中旬 各担当授業内で授業運営サポート	
JLP学生スタッフ	春・秋	4月募集予定	Jラウンジの運営、イベント実施、ミーティング、 オリエンテーションサポート等											4月募集予定	Jラウンジの運営、イベント実施、ミーティング、 オリエンテーションサポート等	
短期日本語・文化 プログラムボランティア	春・秋 各学期 募集		5月中下旬 募集	6月中旬～7月上旬 空港出迎え 留学生サポート					11月中旬～12月中旬 募集		1月中旬～2月上旬 空港出迎え 留学生サポート					
法政グローバルデイ		イベント 広報	5月15日 イベント実施				実行委員 の募集	キックオフ	イベント 準備					イベント 広報	5月中旬 イベント 実施	
学内行事			5～6月 国際キャリア支援セミナー				9月下旬～ 10月上旬 留学フェア	11月 難民映画祭 学内上映会			1～2月 国際キャリア支援セミナー				5～6月 国際キャリア支援セミナー	

※JLP日本語科目授業ボランティアの2023年度の実施は未定です。グローバル教育センターWebサイトをご確認ください。

数字で見る法政大学のグローバル化（2022年度）



Contents

法政大学イベントカレンダー	3	(3) 短期語学研修制度	17
数字で見る法政大学のグローバル化（2022年度）	4	2-2. 各学部独自の留学制度	18
1. 留学の計画と準備	5	2-3. その他の留学	25
2. 法政大学の留学制度	8	2-4. 国際インターンシップ・国際ボランティア	27
2-1. 全学部学科対象の留学制度	8	3. 学内で体験できる国際プログラム	28
(1) 派遣留学制度	9	4. 留学Q&A	31
(2) 認定海外留学制度	13	5. 留学関連窓口・ウェブサイト	33

海外交流協定大学

265 大学・機関

※2023年1月現在

海外派遣学生数

691 名

※派遣留学、SA、短期プログラム、
休学留学等の合計

留学生受入数

1,459 名

※正規留学生、交換留学生、
短期受入等の合計

受入交換留学生数

175 名

英語で受講できる科目

763 科目

海外大学とのオンライン
交流会参加学生数

356 名

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部プログラムについて渡航中止となったためオンラインを活用した海外大学の学生との交流を積極的に推進しています。

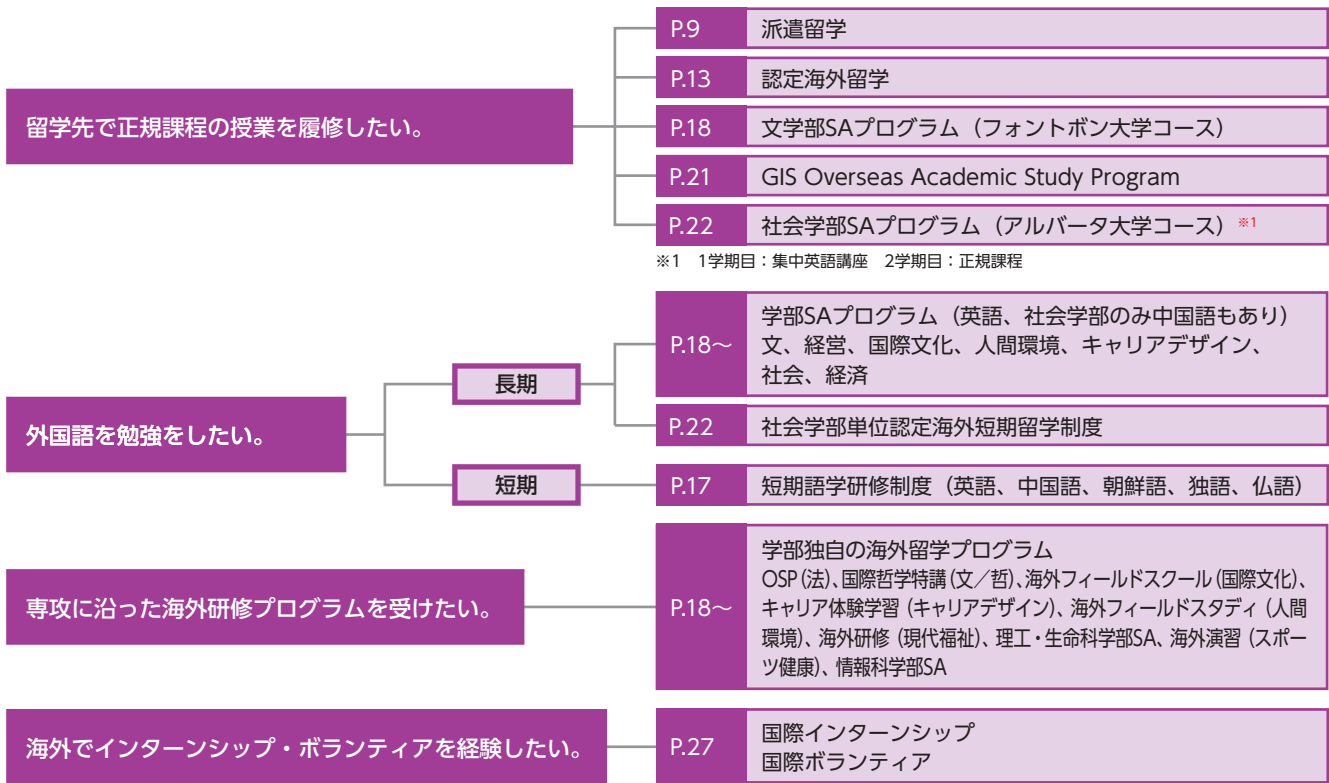
1

留学計画と準備

留学には、学内・学外プログラム、語学留学・学部留学・インターンシップなどの実践活動など、内容・目的・期間の異なる様々な種類のものがあります。留学を検討する前に、自分の優先順位を整理しましょう。



法政大学の留学制度



留学の種類と違い

留学には、長期留学（派遣留学、認定海外留学、SAプログラム）や長期休業期間を利用した短期留学（短期語学研修）、休学し個人で手配を行う留学などがあります。本誌や以下の表を参考に情報収集や比較をしてください。

留学制度	授業料 (法政)	授業料 (留学先)	奨学金	期間	行き方	学内選考	4年間の 卒業	単位認定
派遣留学	○	×	○	半年／1年間	協定校 (23ヶ国69大学)	○	○ (4年次秋から1年留学 した場合を除く)	○
認定海外留学	○	○	○	半年／1年間	各自で決定 (学位授与機関)	×	○ (4年次秋から1年留学 した場合を除く)	○
SAプログラム	○	○	○	2週間～1年間	指定の協定校	△ (学部による)	○	○
短期語学研修	○	○	△ (支給条件あり)	2～4週間	指定の協定校 (9ヶ国11大学)	△ (応募者多数の場合)	○	△ (学部による)
休学して留学	×	○	×	半年～2年間	各自で決定	×	×	×

その他、国際インターンシップや国際ボランティアなど、教育機関以外への留学プログラムもあります。

a. 留学準備をする前に

留学には様々な期間や形態があります。留学準備をする前に、自分の目的や予算に合う留学はどのようなものか考えましょう。

留学の目的は？

- | | | |
|------------|---|---------------------------|
| 1 語学力の向上 | ➡ | 語学学校で語学を集中的に学習 |
| 2 専門分野の学習 | ➡ | 学部留学で専門科目を現地学生と受講 |
| 3 実践的な国際体験 | ➡ | インターンシップ・ボランティア、ワーキングホリデー |

留学期間は？

- 1 短期（長期休暇中（夏季・春季休暇））
- 2 長期（半年～1年間）

留学の形態は？

- 1 長期休暇中に短期留学する
- 2 学期中に大学のプログラムで留学する
- 3 休学して留学する

留学の費用は？

- 1 短期（休暇中）の語学留学：35万円～
- 2 学部のSAプログラム：短期50万円～
長期120万円～
- 3 派遣留学：アジア：90万円～、欧米：120万円～
- 4 休学しての留学：アジア：100万円～
アメリカ：250万円～

※授業料、宿泊費、航空券代の概算です。その他に生活費などがかかります。また費用は留学先によって異なります。

留学先の探し方は？

- 1 学部のプログラムで留学する
- 2 派遣留学・認定海外留学で留学する
- 3 留学エージェントを活用する
➡ 法政グローバルデイや留学フェアなどで学内説明会も開催しています。
- 4 自分で直接申し込みをする

b. 留学を成功させるポイント

(1) 留学に対する明確な目的意識

語学力を向上させたい、自分の専攻分野に関する知識を深めたい、国際体験をしたいなど、まずは**留学の目的を明確**にしてみましょう。留学先やプログラムによって得られるものが異なります。本冊子や各大学のホームページを通じて情報収集し、自分にあった留学先やプログラムを見つけましょう。

(2) 必要な語学力と学業成績

留学先の求める語学基準や学業成績（GPA）を事前に調べて、その基準に達するように準備しましょう。語学学校への留学ではどちらも求められないことが多いですが、学部留学の場合は必須となります。

(3) 必要な経済力

上記のとおり**留学先やプログラムによって費用が異なります**。留学先ではアルバイトができないことが多いため、出発前に十分な資金を確保しておきましょう。また奨学金に応募する場合は、応募時期を事前に確認しましょう。多くの場合、出発前年度の秋が応募時期となります。

(4) 留学後の進路

3・4年次秋学期から1年間留学する場合は、帰国が就職活動の時期と重複する場合や卒業が延びる場合があります。また、プログラムに応じて認定される単位数も異なります。留学の準備をする段階から帰国後の進路を考え、卒業に必要な単位を確認しましょう。

c. 留学のスケジュールを立てる

(例) <派遣留学(春学期入学)の場合>

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・ERP受講	・秋の留学説明会参加 ・必要な語学検定受験	・6月派遣留学応募、選考試験受験	(留学準備) ・ESOP受講 ・住居、航空券、ビザ手配	・2月出発 (留学中)	(留学中) ・12月帰国 ・単位認定	・就職活動 ・卒論準備	・国際インターンシップ応募 ・3月卒業

※6月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、春休み中にスコアを取得しましょう。

(例) <派遣留学(秋学期入学)の場合>

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・夏季短期語学研修応募	・ESOP受講 ・国際ボランティア応募	・HUBs参加 ・必要な語学検定受験	・10月派遣留学応募、選考試験受験	(留学準備) ・住居、航空券、ビザ手配	・8-9月出発 (留学中)	(留学中) ・5-6月帰国 ・単位認定 ・就職活動	・卒論準備 ・3月卒業

※10月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、夏休み中にスコアを取得しましょう。

あなたのプランを書き出してみよう

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期

Step1：情報を集める

- ☐ 自分の留学の目的を明確にし、将来の進路にどうつなげていくか考える。
- ☐ 各留学プログラムに関する情報を集め、自分に合った留学プランを探す。
- ☐ 留学説明会に参加して、実際に留学に行った先輩の話を聞いてみる。
- ☐ 国際交流課や留学先の各大学ホームページ等で必要な語学力や条件を確認する。

Step2：留学をより具体的に

- ☐ 留学先を具体的に絞り込む(国、地域、学校の種類、専攻分野、費用など)。
- ☐ 留学先の学習環境を調べる(滞在方法、治安、施設、留学生の受け入れ体制など)。

Step3：出願、選考、受入れ許可

- ☐ 必要な書類を把握し準備を進め、出願する。
- ☐ 留学に必要な手続きをする(各種書類提出、ビザ申請、送金など)

Step4：渡航準備

- ☐ 住居、航空券、保険加入、クレジットカードなどの手配
- ☐ 現地および国内緊急連絡先の確認

2

法政大学の留学制度

法政大学の留学制度は大きく分けて(1)全学部学科対象の留学制度と(2)各学部独自の留学制度があります。一口に留学といっても以下のような様々な種類があります。留学の目的に合わせて最適な留学方法を検討しましょう。



2-1. 全学部学科対象の留学制度

“ 全学部全学科対象の長期留学制度として、(1)派遣留学制度、(2)認定海外留学制度があります。どちらの制度も留学先で取得した単位を帰国後、所属学部にて単位認定を受けることができ、計画的に履修した場合、4年間で卒業できます(4年次秋学期からの留学を除く)。また、夏休みや春休みを利用した(3)短期語学研修制度も実施しています。 ”

派遣留学制度と認定海外留学制度

	派遣留学制度	認定海外留学制度
対象	留学年度3・4年次(出願時2・3年次)	留学年度2・3・4年次
留学先	交換留学協定校69大学	自由に選択可能 (学位授与権のある正規の高等教育機関)
期間	留学先の学年暦に準じ、1年間もしくは半期	留学先の学年暦に準じ、1年間もしくは半期
入学形態	正規課程入学のみ	条件付き入学も可 ※条件付き入学は、1学期目は大学付属の語学学校に留学し、2学期目から大学の正規課程に留学すること
学籍	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる。 ※休学ではない。	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる。 ※休学ではない。
単位認定	帰国後に所属学部の教授会審査を経て30～60単位を限度として単位認定をする。 ※1年の留学で10～20単位程度の単位認定となる場合が多い。	帰国後に所属学部の教授会審査を経て30～60単位を限度として単位認定をする。 ※1年の留学で10～20単位程度の単位認定となる場合が多い。
本学学費	留学中の学費は全額納入	留学中の学費は全額納入
留学先学費	交換留学協定により免除	本人が負担
奨学金	派遣先により70万円または100万円 (うち20万円は後援会より支給) 半期留学の場合は半額	①「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」30万円(応募選考型) ②「法政大学後援会認定海外留学奨学金」10万円(全員に支給) ③「法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」正規課程入学：50万円、条件付き入学：25万円(海外一流大学へ留学する場合のみ) ※いずれも半期の場合は半額
手続	留学前年の春学期派遣留学：6月、秋学期派遣留学：10月に応募し、選考試験を受ける。合格後、国際交流課のサポートの元、本人が必要な手続を行う。	留学に必要な手続きは、すべて本人が行う。ただし、アメリカとオーストラリアの4大学への認定海外留学プログラムについては、国際交流課を通じて申請を行う(P.14参照)。※応募希望者はできるだけ早い段階で国際交流課に相談してください。

(1) 派遣留学制度

世界23ヶ国・地域、69大学へ
毎年約90名を派遣!

派遣留学制度のメリット!

- ◎派遣留学生全員に地域によって**最大70万円または100万円の奨学金が支給されます!** (返金不要)
- ◎**留学先での授業料が免除** (法政大学への授業料は必要)
- ◎4年次に留学した場合、帰国年度 (春の場合次年度) の学費が免除されるため**4年間分の授業料で留学可能**

派遣留学協定校一覧

1979年度に発足したこの制度は、米国の3大学へ9名の学生を派遣することから始まり、現在では、協定校23ヶ国・地域69大学に毎年約90名を派遣する留学制度に拡大しています。

国・地域	派遣先大学	国・地域	派遣先大学
 アメリカ	トルーマン州立大学	 タイ	タマサート大学*
	ベイラー大学		チュロンコン大学*
	カリフォルニア大学デヴィス校	 マレーシア	マラヤ大学*
	ボイシー州立大学		
	サンディエゴ州立大学	 ドイツ	バーデン・ヴュルテンベルク・デュアル大学カールスルーエ*
	ガステイバス・アドルフアス大学		シュトゥットガルト工科大学*
	ウェストチェスター大学		プレーメン大学*
	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校	 オーストリア	ウィーン大学*
	ミネソタ州立大学マンケート校		
	ウェストフィールド州立大学	 スイス	サンクトガレン大学*
 イギリス	ネバダ大学リノ校		
	ジョージ・メイソン大学	 チェコ	チェコ工科大学*
	シェフィールド大学		
	リーズ大学	 オランダ	NHLステンデン応用科学大学*
	ニューカッスル大学		
 カナダ	ブラッドフォード大学	 フランス	リヨン第三大学*
	ロンドン大学パークベック		西部カトリック大学*
 オーストラリア	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院		ヴェルサイユ大学*
	リヴァプール・ジョン・ムーア大学		パリ大学*
	セントラル・ランカシャー大学		ストラスブール大学
	BCI学生交換プログラム (ケベック)		サンジェルマン・アン・レー政治学院*
 中国	シドニー大学	 デンマーク	オールボー大学*
	アデレード大学		
	ボンド大学	 スウェーデン	プレーキング工科大学*
	オーストラリア・カソリック大学		
 台湾	上海外国語大学	 スペイン	ビック大学*
	中央民族大学		コルドバ大学*
	首都師範大学	 イタリア	カルロ・カッターネオ大学*
	山東大学*		ヴェネツィア大学*
 香港	國立中山大学*	 ロシア	モスクワ国立大学
	淡江大学*		サンクトペテルブルク国立大学
 韓国	國立政治大学*		国立研究大学高等経済学院*
	元智大学*	 ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学
	國立台湾師範大学*		
	嶺南大学*	 メキシコ	グアダラハラ大学
	延世大学*		
	徳成女子大学		
	ソウル大学*		
	梨花女子大学*		
	ソウル市立大学*		
	建国大学*		
	中央大学*		

ピンク色：春学期入学

青色：秋学期入学

※英語受験が可能な英語圏以外の協定校

留学時期・期間

- ・春学期入学 (オーストラリア・韓国) の場合：3年生または4年生の春学期から1年間もしくは半期
- ・秋学期入学 (上記以外の国・地域) の場合：3年生または4年生の秋学期から1年間もしくは半期
- ※留学先協定校の学年暦 (Academic Year) に基づく。

主な応募条件・資格

- ・応募時に本学2年次または3年次に在籍している学部生
- ・修士課程の場合、2年コースは1年目秋学期及び2年目春学期に、3年コースは1年目の秋学期及び2年目春学期・秋学期に在籍している大学院生
- ・博士課程の場合、1年目秋学期・2年目春学期及び秋学期・3年目春学期に在籍している大学院生
- ・出願時直近のセメスターまでを通算した**成績評価係数 (GPA) 2.30以上** (4.0満点)
- ・語学能力 (各協定校が定める各種外国語の資格)

例) 英語受験：IELTS 6.0以上またはTOEFL iBT® 71点以上～
ドイツ語受験：ドイツ語技能検定3級以上またはGoethe-Zertifikat A2以上
フランス語受験：実用フランス語技能検定準2級以上またはDELF・DALFランクA2以上
スペイン語受験：DELE A2以上またはスペイン語技能検定4級以上
中国語：HSK4級以上、中国語検定試験4級以上、TOCFL Superior (高階級) 以上
ロシア語：ロシア語能力検定試験3級以上
朝鮮語：ハングル能力検定試験準2級以上、韓国語能力試験4級以上

※応募条件に関する詳細は必ず募集要項で確認してください。
グローバル教育センターWebサイト (派遣留学制度) https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/haken/

応募方法

- ・募集期間 (春学期入学：6月上旬、秋学期入学：10月上旬) に必要書類 (願書・語学スコア・成績など) を国際交流課へ提出 **※応募の時点で上記資格が必要です!**
- ・選考試験 (春学期入学：7月上旬、秋学期入学：10月下旬または11月上旬) を受験 (面接試験)

★派遣留学応募のポイント★

- ・倍率は毎年**1.5倍程度!** 応募資格を満たしていれば、挑戦する価値あり!!
- ・1年生のうちから**語学力向上に努め、学業成績 (GPA) をおろそかにしないこと!**
- ・面接試験でしっかりと留学の目的を話せるよう、派遣先大学の情報収集を積極的に行うこと。

奨学金

- ・法政大学派遣留生奨学金：渡航費、寮費、保険料および生活費等の補助として派遣留学生全員に下記の奨学金が支給される。(返還不要)
 - ★中国・台湾・香港・タイ・マレーシア・ウズベキスタン・メキシコ→**70万円 (半期留学は35万円)**
 - ★上記以外の国→**100万円 (半期留学は50万円)**
- ・春派遣は4年次に1年間、秋派遣は4年次に1年間もしくは半期留学する場合、帰国年度もしくは次年度の学費は免除される (諸会費を除く)。

学習内容

- 一部の大学を除き、派遣留学生は派遣先で開講される**学部授業を全て履修する**ことができます。ただし、派遣先により履修可能な科目が異なりますので、グローバル教育センターWebサイトの「**各国別協定校情報**」ページの各協定校ページ、協定校のWebサイト、**先輩派遣生の報告書**にて確認してください。
- ※履修前提科目がある場合や受講定員の制限があり、履修できない科目もあります。
- ※派遣先によっては所属した学部の授業のみ履修可能な大学もあります。
- ※学部ごとに語学要件が設定されており、その要件を満たしていないと履修できない場合があります。
- 派遣先では、**自身の専攻分野や興味のある専門科目**を履修します。
- 専門科目に加え、語学の授業を履修することもできます。
- 履修できる科目数は派遣先によって異なり、上限4科目～無制限に履修可能な大学まであります。過去の実績では、**1学期に3～5科目**を履修する場合があります。

単位認定

- 派遣先で取得した単位は所属学部にて上限30～60単位で単位認定を受けることができます。
- 単位認定の基準は学部学科によって異なります**ので、所属学部にてご確認ください。
- 認定される単位数は、授業時間によって決まり、**1,400分で2単位、2,800分で4単位**となります。
- ※派遣先大学の単位数がそのまま法政大学で認定される単位数にはなりません。
- 過去の実績では、1年間の留学で最大24単位の認定となります。派遣留学前に計画的に履修するように努めてください。

留学中の住居

- 派遣留学中の住居は、大学の寮、ホームステイ、ルームシェア、1人暮らしなど**自分で選択することができます**。
- 大学の寮はミールプランを選択することができ、ミールプランに加入すると大学のカフェテリアで食事をとることができます。ミールプランの有無、料金や条件は大学によって異なります。
- ※派遣先大学によっては寮に住むことが必須場合があります。
- 大学によっては寮に限りがあったり、寮がないため、寮以外の住居を選択する必要がある場合があります。
- 住居の手続きは自身で行い**、派遣先大学を通じて手配するか個人で手配します。

留学にかかる費用

- 派遣留学にかかる主な費用は以下のとおりとなります。
- ビザ取得費用、海外旅行保険、留学先の保険、往復航空券、宿泊費、食費、教科書代、生活費
- 留学にかかる総費用は留学先や生活スタイルによって異なります。欧米の大学に1年間派遣留学した場合は、**平均140万円程度**の費用となります。
- ※旅行など留学と直接関係のない費用は含んでいません。

数字で見る派遣留学（2022年度派遣留学）



※2022年度は、新型コロナウイルス感染症や留学先情勢の影響で渡航ができない一部国・地域を除いて、大学が定める条件付きで渡航による派遣留学を実施しました。

HOSEI ➡ Global — 派遣留学体験談 —

青山 空央

派遣先：ヴェネツィア大学（イタリア）
所属学部：法学部政治学科 4年次留学



派遣留学は私にとって人生の大きな分岐点の一つになりました。入学後ただ漠然と海外渡航に憧れを抱いていた私は着々と留学の準備として日々の英語授業や自習、また国際交流課主催のイベントで自ら交換留学生たちと国際交流を図っていました。そうやって準備し、巡ってきた派遣留学のチャンスを必ず手にする意気込みでIELTSを死ぬ気で勉強し、ゼミで研究していた移民政策を海外でさらに発展して学びたいと思い新たな動機を付け加えて選考に臨みました。留学中は住居や友人とのトラブル、現地の人々と交流するためのイタリア語の習得、そして主に様々な国から訪れている留学生たちとの交流や彼らの勉学に対する姿勢を通して大いに刺激を受けました。留学先でさらに勉学の意欲が湧いたことや将来を考えた結果、卒業後は大学院へ進学することを決めました。留学という大きな挑戦を実現させるために何をすべきなのか、留学で何を成し遂げたいのか、どれが最適解かを準備段階から熟考することが留学中、後まで繋がってくる大切な事だと思います。皆さんにも派遣留学をきっかけに一歩大きな挑戦に踏み込んでみて欲しいです。



櫻井 陽子

派遣先：トルーマン州立大学（アメリカ）
所属学部：スポーツ健康学部スポーツ健康学科 4年次留学



大学在学中に絶対に交換留学するという目標が叶い、アメリカのトルーマン州立大学に派遣留学をしました。留学生活を一言でいうと本当に楽しかったです。学業の分野だけでなく、世界中の国の文化や食事を他の留学生と交換するということが非常に大きい収穫となりました。将来、友達の国に行き、その国を案内してもらおうと思います。学業の方に関しては、海外大学院に進むためのprerequisitesの授業をとったり、解剖学のラボの授業をとり死体の検体を使い勉強をしたりとこれもまた良い収穫となりました。法政大学の授業料だけでアメリカの大学の授業を受けられ、加えて奨学金も頂ける派遣留学は本当に良いプログラムだと思います。ぜひ留学に行くかどうか迷っているなら行ってみてください。



森田 宣樹

派遣先：ソウル市立大学（韓国）
所属学部：理工学部機械工学科 4年次留学



僕はソウル市立大学に一年間の派遣留学をしました。韓国は日本と生活様式が似ており、とても生活しやすいキャンパスライフを送ることができました。多様性が進む韓国では町を歩けば観光地でなくとも外国人の姿が目にとまり、学内では英語教育に力を入れており英語話者が多い環境に驚きました。更に留学生の受け入れも多く、僕の通った大学は毎学期約300名の交換留学生を受け入れています。その環境のおかげもあり、様々な国籍の様々な考えを持った学生と交流することができ、以前では想像もできないくらい沢山の国際交流をさせていただきました。多様な価値観を持つ友人が文化や見た目も違う僕を受け入れ、対等に意見を交換できる環境を通して、僕は相手へのリスペクトの上に成り立つ自信をつけることができました。今ではその自信が将来設計の揺るぎない指針となっています。海外でしか手に入らない自分を得るためにも留学を目指してみるのはいかがでしょうか？



(2) 認定海外留学制度

認定海外留学制度のメリット！

- ・協定校に関係なく、自由に留学先を選ぶことができる（正規の高等機関で学位授与権のある大学）
- ・条件付入学（1学期目に大学付置語学プログラム、2学期目に正規課程を履修）を選択可能
- ・留学先や条件付入学の場合、派遣留学より低い語学スコアでの留学が可能（TOEFL-iBT61点等）
- ・2年次にも留学でき、計画的に単位を修得した場合4年間で卒業可能（4年次秋学期留学を除く）
- ・アメリカとオーストラリアの協定校への認定海外留学プログラムも！

留学時期・期間

- ・2～4年次の1年間もしくは半期 ※留学先大学の学年暦（Academic Year）に基づく
- ※条件付き入学（1学期目に大学付置語学プログラム、2学期目に正規課程を履修）も選択可能です。

主な応募条件・資格

- ・留学希望大学からの入学許可書を得ている者、または得る見込みのあるもの
- ・学位授与権を有する正規の4年制大学において正規課程を履修し、単位を取得することが目的であること。（留学先大学での卒業は認めない。）
- ・条件付き入学は2年次か3年次に留学を開始する場合のみ選択可能です。
- ・語学プログラムのみの応募はできません。

※応募条件に関する詳細は必ず募集要項で確認してください。

グローバル教育センターWebサイト（認定海外留学制度）

https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/nintei/

応募方法

- ・募集期間（春学期入学：11月上旬～12月上旬まで、秋学期入学：5月中旬～6月上旬まで）に必要書類を国際交流課へ提出

★認定海外留学応募のポイント★

- ・希望先大学への申請手続きはすべて自分で行うため、各自早めに情報収集を行うこと。
- ・応募する時点で入学許可書を入手している必要があるため、計画的に準備を行うこと。
- ・法政の授業料に加え、留学先大学の授業料も納入の必要があるため、経済的な計画も立てておくこと。

奨学金

- ・「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」30万円（全員に支給）
- ・「法政大学認定海外留学奨学金」10万円（全員に支給）
- ・「法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」（留学前年度のTimes higher education supplementのworld university rankings top 200以内の大学への留学生のみ）
正規課程入学の場合50万円、条件付き入学の場合25万円

認定海外留学に関するよくある質問

- ・留学先はどのように見つければ良いですか？
→P.6「a. 留学準備をする前に」の「留学先の探し方は？」をご参照ください。
学内でも5月に実施するグローバルデイや11月に実施する留学フェアを通じて情報を得ることが可能です。
- ・休学留学との違いは何ですか？
→P.31「留学Q&A」をご参照ください。



「認定海外留学制度」を利用した、全学部学科対象の私費留学プログラムを実施しています。秋派遣は、ボイシー州立大学（アメリカ・アイダホ州）とミネソタ州立大学マンケート校（アメリカ・ミネソタ州）、春派遣はオーストラリア・カソリック大学（オーストラリア・ニューサウスウェールズ州他）、ボンド大学（オーストラリア・クイーンズランド州）があり、留学期間も1年間、半期から選択可能です。詳細についてはグローバル教育センターのホームページや、国際交流課で配付の募集要項で確認してください。

	ボイシー州立大学	ミネソタ州立大学 マンケート校	オーストラリア・ カソリック大学	ボンド大学
留学国	アメリカ		オーストラリア	
留学期間	1年 (2セメスター)	8月中旬～翌年5月中旬	2月/5月～11月下旬 ※1	5月～12月
	半期 (1セメスター)	8月中旬～12月下旬	2月～6月下旬	5月～8月 または 9月～12月
応募期間	1月下旬		●2月開始 9月下旬 ●5月開始 12月上旬	●5月開始 12月上旬 ●9月開始 5月下旬
留学形態	●正規入学（1学期目、2学期目ともに正規課程）留学時2～4年生 ●条件付入学 ※1年留学のみ（1学期目：英語コース 2学期目：正規課程）留学時2～3年生 ※オーストラリア・カソリック大学の2月出発の人は、翌々月の4月からの年度を留学時年度とする			
募集人数	各大学最大10名（正規・条件付合計）			
応募要件 (最低スコア) ※IELTSはAcademic Module	正規入学	条件付入学	正規入学	条件付入学
	IELTS 6.0 または TOEFL- iBT 68	IELTS 5.5 または TOEFL- iBT 62	IELTS 5.5 または TOEFL- iBT61	IELTS 5.0 または TOEFL- iBT 54
	GPA2.25以上	GPA2.0以上	GPA2.0以上	GPA2.0以上
概算費用（1年） 上段：留学先授業料 下段：寮費、食費、 保険料等 ※半期は半額	約270～330万円	約140万円 ※2	約100～140万円	約190～230万円
	約180万円	約140万円	約110～210万円	約100～270万円
※上記以外に、留学先への航空券費用、ビザ費用、教科書代、大学の授業料等がかかります。 ※為替レートの変動等により、費用が変わることがあります。 ※日本で加入する海外旅行保険とは別に、留学先大学独自の保険への加入も必要になります。				
申請可能な奨学金	・「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」※3 ・「法政大学後援会認定海外留学奨学金」※3 ・JASSO「海外留学支援制度（協定派遣）」奨学金 ※4 他			
備考	・条件付入学の方も、2学期目から正規課程を履修するために、渡航までに、正規入学要件と同じ英語スコアを取得する必要があります。			

- ※1…オーストラリア・カソリック大学の条件付入学は、IELTSスコアが5.0～の人は2月、5.5～の人は5月と、留学開始時期が異なります。（正規入学の留学開始は2月）
- ※2…マンケートの学費は、マンケート独自の奨学金が適用になった金額。1期目は全員が受給。2期目の受給には条件があります。
- ※3…ボイシー州立大学、ボンド大学のみ対象
- ※4…本プログラムがJASSO奨学金に採択された場合のみ。JASSO基準のGPAを満たしていて、かつJASSOが指定する家計基準を満たしている学生に支給。詳細は募集要項を参照のこと。



国内市場の縮小により企業の海外市場進出が進んだ結果、市場拡大による競争が激化し、多くの企業が「グローバル人材」の採用を進めています。留学前にグローバル人材に求められること、就職活動のスケジュールなどを把握することが、留学経験を活かした就職活動に繋がります。

グローバル人材に求められるもの

「語学力」は、あくまでツールです。企業が「グローバル人材」に求めるものは、「語学力」に加え、「行動力」、「バイタリティ」、「コミュニケーション能力」、「日本の常識にとらわれない発想」、「リーダーシップ」です。留学中は「語学力」の向上だけでなく、何か挑戦する目標を定めて、留学前から意識的に+αの行動を計画してみましょう。また、毎年約10万人の大学生が留学をしています。その中で差別化を図るためには、「海外経験」、「留学」以外でアピールできることがあるということも重要です。

※+αの活動の実例

- ・現地学生が所属するクラブに入り、公式戦に出場した。
- ・留学先大学主催のイベントに通訳として参加し、来賓の対応を行った。

長期留学と就職活動

3・4年次の秋学期から1年間留学をする場合、留学期間と就職活動が重複してしまいます。帰国時には、エントリーシートの提出、筆記テスト、面接が始まり、内定を出している企業もあります。一方、採用を終えている企業は一部であり、大手企業の多くは優秀な留学経験者を採用して採用活動を終えようとしています。また、近年ではオンラインで採用活動を行う企業も増えているため、留学先から就職活動を行うことも可能です。

自己分析・自己PR

留学前から、自己分析を行うとともに留学中の目標を明確にしておきましょう。留学中～後は、留学体験の振り返りを行い、自己PR文の作成まで早めに進めましょう。

企業・業界研究

留学前に企業・業界研究、特にB to B企業(企業(法人)に対して事業や商取引を行う企業)は海外売上率が高く経営が安定している企業が多いですが学生からの知名度が低いです。グローバル系の就職フォーラムや就職四季報で日本にいる間に情報収集をしましょう。

海外で行われる就職フォーラム

ボストン、ロンドンなどで、留学中の学生を対象とした就職フォーラムが開催されています。日系企業が説明会だけでなく採用面接も行い内定を出す企業もあります。

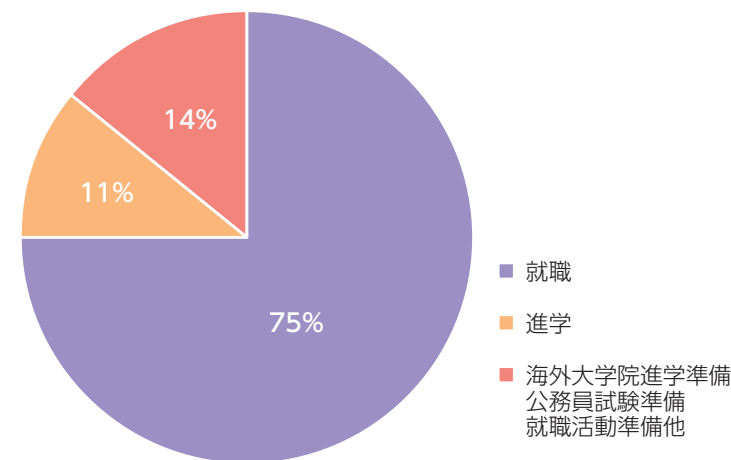
プレエントリー・企業へのコンタクト

プレエントリー開始後は積極的に応募しましょう。筆記や面接が受けられない場合、企業に問い合わせをしましょう。

国際キャリア支援セミナー

グローバル教育センターでは、留学前後の学生を対象とした学内国際キャリア支援セミナーを開催しています。留学前は、グローバル人材の採用における企業の着眼点や海外経験の効果的なアピール方法など、留学後は、留学中の就職活動方法や海外での就職フォーラム対策などのセミナーやワークショップを行います。また、在学中や卒業後にグローバル体験をしている卒業生をお招きし、学生時代の活動や卒業後のキャリアについて講演いただくイベントもシリーズ開催しています。

派遣留学・認定海外留学生の卒業後の進路 (2015～2019年度留学生)



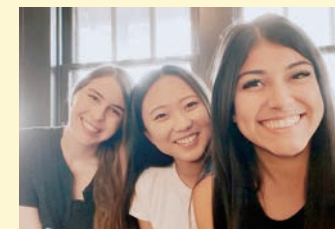
トヨタ自動車(株)、日立製作所(株)、サムスン電子ジャパン(株)、日本ヒューレット・パッカード(株)、TOTO(株)、(株)アシックス、サントリーホールディングス(株)、(株)資生堂、(株)ADKホールディングス、(株)凸版印刷、(株)KADOKAWA、日本銀行、(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、アクセンチュア(株)、PWCコンサルティング合同会社、楽天(株)、ソフトバンク(株)、(株)サイバーエージェント、東京ガス(株)、国際石油開発帝石(株)、日本放送協会(NHK)、全日本空輸(株)、エミレーツ航空、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)、(株)JTB、東京都庁、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、オックスフォード大学大学院、マンチェスター大学大学院、ロンドン大学SOAS、サンクトペテルブルク国立大学大学院、パリ・ソルボンヌ大学大学院、東京大学大学院、早稲田大学大学院

畔柳 麻美

2022年度 経営学部経営学科卒業
2021年度ベイラー大学(アメリカ)派遣留学生
勤務先: アマゾンジャパン合同会社



私は就活には正解があるわけでもなく、そこにたどり着けないからといって失敗とは限らないと思っています。これまでの大学生活では言われるがまま授業を履修し、流れに身を任せるように生活をしてきました。しかしその結果として私を待っていたのは、「自分のやりたいことが分からない」という不都合な真実です。留学期間中、日本社会と隔絶されて改めて自分と向き合う時間をもらうことができました。新しい環境で何を信じればいいのか分からないカオスの中、ひたすら自分と向き合い人生について考える時間をもらったことで羅針盤を見つけた気がします。就職活動で良い悪いが全くないように、自己を理解し進みたい方向に進むことだけに集中していれば適切な選択肢が見えてくるはず。派遣留学は自分にとっての正解を見つけるための手段として最適であり、サポートしてくれる体制が整っています。これから留学を検討している人は、自分が何をしたいか、その先の未来についても一緒に考えてみてください。



中山 香澄

2021年度 経済学部国際経済学科卒業
2021年度ブラッドフォード大学(イギリス)派遣留学生
2022年10月 ルール大学ボーフム(ドイツ) Ethics- Economics, Law and Politics専攻



留学の最大の成果物は、自分自身を知れたことです。国籍・年齢・ジェンダー・バックグラウンドが多様な環境で過ごしたことで、新しい視点からの考えが刺激となり、自分がどういう人間なのかを内外から理解することができました。学業面や専門的な場面だけでなく、日常生活において、国際的な環境でどのように自分を表現するか、人間関係を構築するかを身を持って体験しました。海外で学ぶことは国際社会で自由に振る舞う力をより実践的に高められます。これが留学による最大の成果物で、将来どの国に行ったとしても、ずっと役立つスキルになると思っています。イギリス留学の経験は、現在ドイツでの大学院生活において私に自信を与えています。これがなければ今ごろ私の心は折れていたに違いありません。留学の経験は必ず私たちの将来に重要なヒントを与えてくれます。後悔しません。是非挑戦してみてください！



(3) 短期語学研修制度

短期語学研修のメリット

- ◎語学レベル・GPAなどに関係なく、参加ができる
- ◎英語圏、非英語圏など、バラエティに富んだ研修先から選択可能
- ◎自分のレベルに合ったクラスで、語学・文化などを無理なく学ぶことができる
- ◎学部によって、単位認定・卒業所要単位への算入も可能 ※詳細は所属学部にてご確認ください



※新型コロナウイルス感染症の影響により現地への渡航が困難な状況が続いていましたが、2022年度春季よりプログラムを再開しました。

研修実施時期

夏季（8～9月）、春季（2～3月）

応募条件

本学の学部1～4年次に在籍していること。（休学者、通信教育部在籍者は除く）



研修先

研修先大学名	国名	言語	実施時期	募集人数	研修期間
APU (Asia Pacific University of Technology and Innovation)	マレーシア	英語	夏、春	20	約4週間
UCSI大学			夏、春	20	約4週間
ポートランド州立大学			夏、春	25	約3～4週間
ヴィクトリア大学			夏、春	25	約3～4週間
オーストラリア・カンリック大学	オーストラリア		夏、春	30	約4週間
北京語言大学	中国	中国語	夏、春	10	約4週間
淡江大学	台湾		夏、春	10	約2～3週間
建国大学	韓国	朝鮮語	夏、春	10	約2～3週間
ウィーン大学	オーストリア	ドイツ語	夏	5	約4週間
グルノーブル大学またはサンティエヌヌ大学	フランス	フランス語	夏、春	5	約4週間

※研修先は変更になる場合もあります。また研修先によって募集を行わない場合もあります。

費用

約350,000～700,000円（研修先による）※為替レート、航空券費用などで変動します。

（授業料、滞在費、海外旅行保険費、往復航空券が、上記費用に含まれます）

※その他、食費、現地交通費等が別途必要。（一部食事含まれているコースあり）

申込方法

募集期間（夏季：4月、春季：9月）にグローバル教育センターのホームページよりオンラインで申し込む。（希望者多数の場合は抽選）

大坂涼

オンライン留学先：UCSI大学
所属学部：経営学部経営学科 3年

私は短期語学研修に参加し、マレーシアのUCSI大学で一ヶ月間、語学の授業と現地学生との交流を体験しました。参加した経緯としては、大学での専門分野が会計のため、海外との取引や英文基準などを扱う仕事を任された際に備え、少しでも耐性を付けるために参加しました。現地での生活は午前中に現地学生数人や他大学の学生と英語を使ったゲームをし、午後には英語の授業で4技能の勉強を5時まで行います。現地では主体的に行動をする必要があるため、精神的なストレスもある程度ありましたが、全て外国語で話さなければいけない環境であるため、徐々に自分に自信を持てるようになりました。例えば、タクシーの運転手と話が合わず口論になる事や、トラブルで電車が止まり駅員と話し合う事など、例をあげればキリがない程です。正直なところ、一ヶ月で英語を流暢に喋れるようにはなりません、語学学習に対するモチベーションや長期留学、海外インターンシップなど後々の事を考えると非常に良い勉強になると思います。

★詳細は、グローバル教育センターのホームページや、留学説明会などでご確認ください。

グローバル教育センターWebサイト（短期語学研修制度）https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/short_term/

2-2. 各学部独自の留学制度

法政大学は全学部全学科対象の留学制度の他に、全学部で各学部独自の留学制度や海外研修プログラムを実施しています。詳細は必ず各学部窓口にて確認してください。

※留学の費用については、為替の変動等により大幅に変わる可能性があります。

法学部 Overseas Study Program (OSP)

対 象	国際政治学科・政治学科・法律学科の学生（定員あり）。希望者が定員を超えた場合は国際政治学科の学生を優先する。	
留 学 先	台湾	フィリピン（2024年度から実施予定）
期 間	夏休み期間中の約10日間	夏休み期間中の約15日間
内 容	台北にある輔仁大学で、ネイティブ講師による少人数制の中国語授業を毎日3時間（午前中）集中して受講し、中国語への理解や会話力を向上させる。午後は現地学生との交流、文化体験、博物館見学などを行い、中華圏の社会や文化について学ぶ。	セブ島にある南フィリピン大学で、毎日マンツーマンの英会話レッスン及び生徒3人程度に教員1人の少人数の英語の授業をそれぞれ約3時間ずつ、2週間にわたって受講し、英会話能力と異文化への対応力を向上させる。
費 用	法政の学費とは別に25万円程度必要	法政の学費とは別に30万円程度必要
奨 学 金	特になし	
手 続	国際政治学科の科目「Overseas Study Program」の履修者のみが参加できる。手続きの詳細は授業内で説明。	

文学部哲学科 国際哲学特講

対 象	哲学科2～4年次までの希望者	
留 学 先	フランス	ドイツ
期 間	2月初旬の約1週間	
内 容	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）の協力でハイデルベルグとコルマールに滞在し、そこを拠点にハイデルベルグ大学（ドイツ）とストラスブール大学（フランス）で合同ゼミ等を行う。	
費 用	法政の学費とは別に30～40万円程度必要	
奨 学 金	旅費総額の25％（上限5万円）を補助として支給	
手 続	4月上旬 ガイダンス実施 4月中旬 応募書類を文学部窓口へ提出 4月中旬 参加者決定	

文学部英文学科 SAプログラム

対 象	英文学科1～4年次までの希望者（学内選考あり）	英文学科2～4年次までの希望者（学内選考あり）		
留 学 先	アイルランド	アイルランド	アメリカ	カナダ
期 間	夏休みの3週間	秋学期の約4ヶ月間～7ヶ月間	秋学期の約4ヶ月間	
内 容	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリンでの語学研修プログラムに参加し、他国からの留学生と机を並べ、英語力を集中的に身につける。	フォントボン大学で正規学生として専門科目も履修する。	ヴィクトリア大学で語学研修プログラムに参加し、他国からの留学生と机を並べ、英語力を集中的に身につける。	
費 用	法政の学費とは別に50万円程度必要	法政の学費とは別に100～190万円程度必要	法政の学費とは別に190～270万円程度必要	法政の学費とは別に100万円程度必要
奨 学 金	審査の結果承認された者に5万円程度支給（SA先毎の人数により変動あり）	審査の結果承認された者に20万円程度支給（SA先毎の人数により変動あり）		
手 続	10月下旬～11月上旬 説明会実施 11月中旬 応募書類を提出（詳細はHP、説明会で説明） 12月上旬 参加者決定（原則書類選考） ※1年生は、4月に募集・出願・選考	10月下旬～11月上旬 説明会実施 11月中旬 応募書類を提出（詳細はHP、説明会で説明） 11月下旬 面接 12月上旬 参加者決定		

経営学部 SAプログラム ※2023年度は実施を中止します。

対 象	申請時に1～3年次に在籍し、必要な要件を満たす経営学部の希望者（定員約30名、学部内選考あり）※GBPの学生は除く
留 学 先	英語圏の大学にて実施予定
期 間	2～4年次秋学期の約3～4ヶ月間
内 容	英語教育機関で語学研修プログラムを受講する
費 用	法政の学費とは別に100～130万円程度必要（留学先により異なる） ※2019年度の実績（概算）です
奨 学 金	学業成績が優れている者に前年度旅費総額の30％程度を支給
手 続	1. 10月中旬～11月中旬に必要書類を学部窓口へ提出 2. 書類選考通過者は12月上旬に面接を実施

国際文化学部 SAプログラム ※2023年度SA実施可否については、国際文化学部担当にて確認してください。

対 象	国際文化学部生全員（必修）※外国人留学生入試、海外指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、済州特別自治道教育庁推薦入試で入学した学生はスタディ・ジャパンに参加
留 学 先	 イギリス  アメリカ  カナダ  オーストラリア  ドイツ  フランス  ロシア  中国  スペイン  韓国
期 間	2年次秋学期の約3～6ヶ月間
内 容	シェフィールド大学・リーズ大学（イギリス）、カリフォルニア大学ディヴィス校・ミシガン州立大学・ボストン大学（アメリカ）、ヨーク大学・トロント大学・ブロック大学（カナダ）、ディーキン大学（オーストラリア）、ロイファナリューネブルク大学（ドイツ）、西部カトリック大学（フランス）、ペテルブルク国立交通工科大学（ロシア）、上海外国語大学（中国）、バルセロナ大学（スペイン）、韓国外国語大学（韓国）において、留学先の言語とその国の文化に対する理解を深めることができるプログラムを受講する。
費 用	留学先により82～298万円程度
奨 学 金	(A) SA参加決定者全員に25万円 (B) (A) のうち特に学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者に上限60万円を加算して支給（金額は留学先によって異なる） (C) (A) のうち特に教育上経済的援助が必要な者に上限60万円を加算して支給（金額は留学先によって異なる）
手 続	入学手続き時にSA希望先を登録。SA英語圏は複数の渡航先があるため、1年次9月に最終希望登録を実施。11～12月頃にSA先決定通知を大学から送付。

国際文化学部 海外フィールドスクール ※2023年度は国内またはオンラインで実施予定です。詳細は、国際文化学部担当にて確認してください。

対 象	(1) 国際文化学部SA・SJ修了者 (2) 国際文化学部生以外は、法政大学が実施する異文化交流プログラムに参加した2年次以上であること。なお、異文化交流プログラムに参加し、単位修得していることが望ましい。 (1)(2) から参加を募り、学内選考あり。
留 学 先	 タイ  ミャンマー  フィリピン  ラオス（年によって開講するコース、地域が決定される。詳細は説明会で発表）
期 間	夏休みの1週間～10日程度
内 容	東・東南アジアをフィールドに、開発と文化、表象文化、環境と文化の3つのコースで実施。主に①講義、②フィールドでの調査や制作、③成果の発表の3つのモジュールで構成され、専門性の高い知識、研究手法、表現方法を修得する。
留学費用	留学先により6～16万円程度
奨 学 金	特になし
手 続	4月の募集期間に必要な書類を学部事務へ提出し、書類選考と面接で派遣者を決定。

キャリアデザイン学部 キャリア体験学習（国際） ※2022年度は国内での実習に代えました。2023年度の実施形態は未定です。

対 象	2～4年次に在籍しているキャリアデザイン学部の希望者（体験型選択必修科目）（定員各10名、学部内選考あり）
留 学 先	 台湾  ベトナム
期 間	夏休み中の2週間程度
内 容	現地の歴史や文化を学ぶとともに、現地大学生との交流、現地企業へのインターンシップ及び現地でのフィールドワークを行う。
費 用	法政の学費のほか、10万円程度（2019年度実績）
奨 学 金	総費用のうち、学部が半額を補助する。上記「費用」の金額は、補助実施後の金額。
手 続	3月下旬に実施される体験型選択必修科目のガイダンスに必ず出席し、ガイダンスの指示に従い申し込むこと。定員を超えた場合、面接等の選考を実施することがある。
そ の 他	春学期の「キャリア体験事前指導（国際）」と秋学期の「キャリア体験学習（国際）」のセットで履修すること。

人間環境学部 SAプログラム

対 象	申請時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍している人間環境学部の希望者 ※SCOPE生を除く
留 学 先	 オーストラリア
期 間	2～4年次秋学期の約3ヶ月半
内 容	語学のスキルアップと異文化の理解・融和をはかり、グローバル時代に対応できる素養を高めることを目的として、ボンド大学の付属語学学校で英語を集中的に学ぶ。
留学費用	法政の学費とは別に140万円程度
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の30％（30万円程度）を支給
手 続	申込書を11月の募集期間にウェブ上で提出。選考（書類・面接）を実施し参加学生決定。

人間環境学部 海外フィールドスタディ

対 象	1～4年次に在籍している人間環境学部の希望者（各コース定員20～25人、学部内選考あり）
留 学 先	東南アジア 中国 ヨーロッパ オーストラリアなど ※年度により変わります。 2019年度実績：フランス・ドイツ・オランダ、オーストラリア、ハワイ
期 間	夏休みまたは春休みに5～16日程度
内 容	キャンパスを出て現地に身を置き、その国の社会環境や自然環境を肌で感じ、さまざまな体験を通して問題意識を高めるために設けられている科目
費 用	法政の学費とは別に12～35万円程度（研修先により異なる）
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の50％（上限9万円）までを奨励金として支給（奨励金の支給は在学中1回限り）
手 続	・Ⅰ期（夏休みに実施）：所定の期間に必要な書類をウェブ上で提出。 ・Ⅱ期（春休みに実施）：所定の期間に必要な書類をウェブ上で提出。

キャリアデザイン学部 SAプログラム

対 象	申請時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍しているキャリアデザイン学部の希望者
留 学 先	 ニュージーランド  オーストラリア
期 間	2～4年次秋学期の約3ヶ月間
内 容	オークランド大学（ニュージーランド）、アデレード大学（オーストラリア）の英語教育機関で英語を集中的に学ぶ。
費 用	法政の学費とは別に130～160万円程度
奨 学 金	学業成績に優れている者に旅費総額の30％程度を支給
手 続	9月中旬に募集説明会開催。所定の募集期間中に出願し、12月上～中旬に学部内面接選考を実施。12月下旬に参加学生決定。

GIS（グローバル教養学部）Overseas Academic Study Program

対 象	派遣先および本学の条件を満たすグローバル教養学部の希望者			
留 学 先	 アメリカ	 イギリス	 カナダ	 ニュージーランド
期 間	秋学期の4～5ヶ月間			春学期約4ヶ月間または約10ヶ月間
内 容	San José State University（アメリカ）、University of Sussex（イギリス）、University of Prince Edward Island（カナダ）において学部課程の正規授業を受講。			Massey Universityにおいて学部課程の正規授業を受講。
費 用	法政の学費とは別にアメリカ：220万円程度、イギリス：170～230万円程度、カナダ：120万円程度 ※渡航費・保険料等が別途必要			法政の学費とは別に短期：160～170万円程度、長期：310～330万円程度 ※渡航費等が別途必要
奨 学 金	(A) 参加決定者全員に短期：50万円、長期：100万円を支給 (B) (A) のうち特に学業成績が優れている者に短期：10万円または20万円、長期：10万円または40万円を加算して支給			
手 続	6月下旬～7月上旬、および11月下旬～12月上旬に参加希望者に向けたガイダンスあり。 アメリカ、イギリス、カナダ：1月上旬までに申込み、3月上旬までに参加者決定。NZ：8月下旬までに申込み、10月頃参加者決定。			



社会学部 SAプログラム ※実施状況は、社会学部事務課にて確認してください。

対 象	申請時に1～2年次に在籍し、必要な要件を満たす社会学部の希望者	
留 学 先	 アメリカ  カナダ  中国	
期 間	2年次秋学期もしくは3年次秋学期の約2～5ヶ月間（留学先により異なる）	3年次の8ヶ月間（カナダ・アルバータ大学のみ）
内 容	ボストン大学（アメリカ）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）、トロント大学（カナダ）、北京師範大学（中国）の語学学校で、集中的に語学を学習する。	アルバータ大学（カナダ）で1学期目に集中英語講座を学習した後、2学期目に法律学、教育学、社会学、経済学、会計学等のコースから正規の学部授業を履修する。
費 用	法政の学費とは別に69～289万円程度必要（留学先により異なる）	法政の学費とは別に180～252万円程度必要（登録する学部授業数により異なる）
奨 学 金	学業成績が優れている者に旅費総額の30％程度を上限として支給（採用予定約30名）	
手 続	長期SA（カナダ） 5月中旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、選考を経て参加決定。 半期SA（アメリカ、カナダ、中国） 9月下旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、選考を経て参加決定。	

社会学部 単位認定海外短期留学制度 ※実施状況は、社会学部事務課にて確認してください。

対 象	ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修済の社会学部の希望者
留 学 先	 ドイツ  フランス
期 間	1～3年次の春休み期間、2～4年次の夏休み期間
内 容	学部の認定した外国語研修機関への語学研修参加（ただし留学期間は4週間以上もしくは授業時間60時間以上とする。）
費 用	法政の学費とは別に30～69万円程度
奨 学 金	特になし
手 続	春学期参加希望者（夏休みに渡航） 5月上旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、担当教員と面接の後に参加決定。 秋学期参加希望者（春休みに渡航） 10月上旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、担当教員と面接の後に参加決定。

経済学部 SAプログラム

対 象	申請時に1年次に在籍し、必要な条件を満たす経済学部の希望者（定員約60～100名）
留 学 先	 イギリス  アメリカ  カナダ ※応募者数等によっては、派遣を行わない国もある。
期 間	2年次春学期の約4ヶ月間
内 容	シェフィールド大学（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）、ブロック大学（カナダ）のいずれも集中的な英語の学習と、その国の経済、ビジネス、文化、社会等の講義との二本立てで構成されている。
費 用	法政の学費とは別に120～170万円程度必要（留学先により異なる）
奨 学 金	学業成績が優れている者に旅費総額の30％程度を支給
手 続	1年次春学期の募集期間に応募書類を経済学部事務課へ提出。

現代福祉学部 海外研修 ※2023年度の実施可否については、現代福祉学部事務課へお問い合わせください。

対 象	2年次に在籍している現代福祉学部の希望者（定員30名を予定、学部内選考あり） 2023年度は新型コロナウイルス感染症の影響により3・4年次も対象とし、各年次定員10～20名を予定
留 学 先	 スウェーデン
期 間	2～4年次夏休みの8日間程度
内 容	ヨーロッパを中心に海外の福祉や地域づくり、心理に関わる施設を訪れ、現地のまちづくりや文化を学ぶ。
費 用	法政の学費とは別に40万円程度 ※2019年度実績
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の60％（上限15～20万円）までを補助として支給 ※2019年度実績
手 続	4月下旬に学部内選考試験を受験。5月下旬に選抜対象者を発表し、研修申込書類を提出（ただし、選考スケジュールは年度により変更する可能性がある）。

理工学部 SAプログラム ※2023年度は実施を中止します。

対 象	1～4年次の希望者（定員は生命科学部と合わせて約55名） ※生命科学部と合同での留学となる。
留 学 先	未定
期 間	夏休みの4週間
内 容	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、英語教育機関において集中的に語学を学ぶ。
費 用	法政の学費とは別に50～60万円程度
奨 学 金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給
手 続	4月初旬に説明会を実施、所定の期間（4月中旬～5月中旬）に申込み手続き、選考の上参加決定

生命科学部 SAプログラム ※2023年度は実施を中止します。

対 象	1～4年次の希望者（定員は理工学部と合わせて約55名） ※理工学部と合同での留学となる。
留 学 先	未定
期 間	夏休みの4週間
内 容	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、英語教育機関において集中的に語学を学ぶ。
費 用	法政の学費とは別に50～60万円程度
奨 学 金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給
手 続	4月初旬に説明会を実施、所定の期間（4月中旬～5月中旬）に申込み手続き、選考の上参加決定

スポーツ健康学部 スポーツ健康学海外演習

プログラム	スポーツ健康学海外演習	スポーツコーチング海外演習	スポーツビジネス海外演習
対 象	2、3年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員22名、学部内選考あり）	2～4年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員20名、学部内選考あり）	2～4年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員20名、学部内選考あり）
留 学 先	 アメリカ	 スペイン、  フランス等ヨーロッパ（変更あり）	 アメリカ
期 間	夏休みの2週間	夏休み、もしくは春休みの7～10日間程度（変更あり）	春休みの1週間程度
内 容	ボイシー州立大学（アメリカ）において、午前中はレベルごとに語学学習、午後はスポーツ健康学に関するワークショップを行う。	海外のトップスポーツクラブの現地視察を行い、コーチングの観点を持ちながら指導方法について多角的に学ぶ。	海外（ニューヨーク）においてスポーツビジネスの基礎を学ぶとともに、国際感覚を養うことを目的とする。
費 用	学費とは別に55万円程度	学費とは別に50万円程度	学費とは別に45万円程度
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の30%までを補助として支給	—	
手 続	（1）実施前年度12月／1月頃に実施の事前説明会へ参加。希望者は参加申込書提出。 （2）参加申込書を基に選考実施。 （3）合格者に対して必要書類を送付。 （4）実施年度4月に参加者ガイダンスを実施、手続きについて説明する。	（1）実施年度に実施する事前説明会へ参加。参加希望者は担当教員へ申し込む。 （2）参加希望者の中から担当教員による選考実施。 （3）合格発表を確認後、参加者に事前授業／参加者ガイダンスを実施、手続きについて説明する。	
そ の 他	—	実施時期によって、4年生には単位が付与されない場合がある。	

情報科学部 SAプログラム

対 象	1～4年次に在籍している情報科学部の希望者
留 学 先	 マレーシア
期 間	夏休み中の4週間半程度
内 容	プトラマレーシア大学にて、3週間半の語学スクール、1週間の学部授業受講の2プログラムを行います。週末には、マレーシア文化体験として、世界遺産のマラッカ見学、象サンクチュアリー見学、マレーシアダンスや料理講習などのプログラムも用意されています。
費 用	法政の学費とは別に40万円程度必要
奨 学 金	選考によりSA奨学金10万円を支給
手 続	詳細は4月に実施するガイダンスで案内します。

2-3. その他の留学

“ これまでに紹介した「全学部学科対象の留学制度」や「各学部独自の留学制度」以外にも、様々な留学方法があります。基本的には自分で情報収集をして応募することになります。 ”

(1) 大学院留学

卒業後に海外の大学院へ進学する場合、留学先の国や大学によって期間、必要書類、留学にかかる費用等が大きく異なりますので、各自で事前に入念な情報収集をする必要があります。

海外大学院の一般的な在籍期間には、1年制と2年制があります。一般的な審査は、CV(履歴書)、推薦状、エッセイ、大学のGPA、TOEFL/IELTS、GRE/GMAT*1などをもとに行われます。GPAやTOEFL/IELTSは非常に高いレベルが要求されるため、大学院進学を考えている方は早いうちから対策を進めておく必要があります。参考として、トップスクールでは、GPA：3.8、TOEFL ibt：100、IELTS：7.5程度のスコアが必要になります。

また、海外大学院進学者を対象とした奨学金には、**日本学生支援機構**の奨学金があります。

日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（海外大学院学位取得型）奨学金は、大学を通して応募する奨学金です。海外留学支援制度(大学院学位取得型)に採用されると、留学地域によって月額89,000円～148,000円が支給されるほか、2,500,000円を上限とした授業料援助があります。選考は提出書類、推薦状によって書類審査が行われ、書類審査に通過すると面接試験が実施されます。今年の応募要件はGPA：3.0以上、TOEFL ibt：100以上、IELTS：7.0以上と高く、入念な準備が必要になります。要件は変更される可能性があるので、詳細については毎年9月頃に更新される募集要項で確認してください。

国際交流課では、例年外部講師をお招きして、各種制度や奨学金、具体的な事例について紹介する海外大学院進学のための説明会を実施しています。海外大学院進学を考えている方は、こうした学内の説明会、留学先のHPなどから各自情報収集をしてください。

また、法政大学の大学院へ進学した場合、**「法政大学大学院海外留学制度」**を利用することができます。詳細はP34記載のHPよりご確認の上、各担当事務窓口でお問い合わせください。

※1 GREは大卒以上のアメリカ人を対象にしたテストで、アメリカ大学院進学で提出を求められるのが一般的です。GMATはMBA（経営学修士号）を取得するための人に向けたテストで、アメリカだけでなく多くの大学院で採用されています。

石丸 純平

2020年度 グローバル教養学部グローバル教養学科卒業
2019年度ジョージ・メイソン大学（アメリカ）派遣留学生
2021年度JASSO海外留学支援制度（大学院学位取得型）採用
留学先：サセックス大学大学院（イギリス）開発学修士課程

大学4年次にジョージメイソン大学へ派遣留学をし、そこで紛争学を学んだことをきっかけに開発学への関心が高ったため、念願であったイギリスへの大学院進学を決めました。国際交流課の皆様の応援もあり、JASSOの奨学金で勉学に集中することができています。大学院進学は、直接進学するか職務経験を経ってから進学するかで悩んでいたのですが、直接進学する決断をしてよかったと思っています。理由としては、学部時代に培った学術的思考や柔軟な考え方を活かすことができるからです。国際開発の現場経験が長く教育から遠ざかっていた同期に比べ、学部から直接進学してきた学生の方がこれらの素質を活かしていると感じています。また、多文化な環境に身を置いていることによって、日本人として国際開発に携わることの意味を日々考え直させられています。卒業後は、自分の強みを最大限に活かし、常に自らの立ち位置を振り返りながら国際開発に貢献していきたいと考えています。



(2) 休学して留学する場合

休学して留学する場合は、基本的に大学を通さず、個人応募で留学することになります。ただし決められた期限内に**「休学」の手続き**をする必要があります。また休学在籍料として、年間休学の場合10万円、春学期または秋学期休学の場合は5万円（別途諸会費が必要）を納入しなければなりません。休学手続きの詳細は**各学部窓口**で確認してください。

※新型コロナウイルス感染症影響下での渡航は、**法政大学渡航方針**（下記URL参照）に基づいて十分に検討してください。

<https://www.hosei.ac.jp/info/article-20200521145917/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54#a07>

休学して留学する場合の注意点

- ・手続き等は**すべて自己責任**で進めることになるため、十分に情報収集を行うこと！！
- ・グローバルディや留学フェアを活用し、情報収集を行うこと（P.3カレンダー参照）。
- ・所属学部の担当者、指導教員、国際交流課等に**事前によく相談**すること。
- ・外務省 海外安全ホームページなどを事前に確認し、**留学中の安全確保に努める**こと。

(3) 海外留学ファースト・チャレンジ奨励金

本奨学金の概要

- ◎入学後早期からの海外留学・海外研修活動への参加を奨励し、その後のさらなる国際交流活動を動機づけることを目的とする、**法政大学独自の奨励金制度**です。
- ◎**学部1～2年次の長期休暇期間中**に、**学外機関が主催する海外留学・研修プログラム**に自主的に参加・修了した学生が対象です。
- ◎**オンライン形式**の海外留学・研修プログラムも対象に含まれます。
- ◎学内選考のうえ、**上限5万円**を給付します。（返済不要）

・採用予定者数：40名程度

・採用学年：1～2年生（出願時）

・出願締切：7月（夏季）、12月（冬季）、1月（春季）

・奨学金額（年額）：5万円を上限

※出願方法等の詳細はグローバル教育センターWebサイトをご確認ください。

グローバル教育センターWebサイト（海外留学ファースト・チャレンジ奨励金）

https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/others/first_challenge_scholarship/

坂田 優茉

所属学部：社会学部社会学科 2年

この度は海外留学ファーストシップ・チャレンジ奨学金を支給していただきありがとうございました。円安というご時世の中で費用を一部負担していただき本当に助かりました。

今回は夏休み期間にオンラインインターンシップとしてアメリカの企業でマーケティング活動をさせて頂きました。顧客拡大に向けた宣伝を他のインターン生とともに考え、実施しました。

今回のプログラムで学んだことはチームとして企業のために働く力の必要性です。企業としての目標を決定し、それを基に個人ごとのタスクを明確にすることで仕事の効率化ができるということが分かりました。また、これからはある型に縛られることなく、自分自身で考え、アイデアをひねり出す力も企業に求められるということが分かり、その力を今回のインターン期間で学習できたと思います。

今後は英語の勉強にさらに精進するとともに自分でアイデアを考え、提示することができる、どんな企業からも求められるような人材になれるように頑張りたいと思います。また、もっと国際交流のイベントに参加し、よりグローバルな知識や見方を得たいと思います。



2-4. 国際インターンシップ・国際ボランティア

“ 法政大学では留学以外にも、学内でできる国際交流のプログラムや語学力向上のためのプログラムが多く用意されています。各自の目的に合わせて、最適なプログラムを選択しましょう。

” ※新型コロナウイルス感染症の影響により、現地への渡航が困難な状況が続いていましたが、2022年度春季より現地渡航プログラムを再開しました。

(1) 国際インターンシップ

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」では、海外の企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など、学生のキャリア形成支援につなげていくものです。プログラムにより、派遣地域、派遣期間、参加費用が異なります。詳細は、グローバル教育センターホームページにてご確認ください。



募集対象：本学の学部生および大学院生（ただし、研修生、研究生、通教生を除く）
応募方法：グローバル教育センターホームページに募集要項・応募用紙を掲載（夏季は4月末、春季は10月頃の掲載を予定）します。必要事項を記入の上、期限内に国際交流課までご提出ください。
派遣地域：米国、東南アジア諸国等
派遣期間：プログラム毎に異なりますが、4週間程度です。
参加費用（目安）：20～40万円（国内交通費、航空券、食費・宿泊費、海外旅行保険等）
グローバル教育センターホームページ：https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/volunteer_internship/

(2) 国際ボランティア

グローバル教育センターが主催している「国際ボランティア」では、派遣先で必要としている活動に参加し、現地で直接交流することで文化や言葉の壁を越えて、相互に理解を深めながらコミュニケーション能力を養います。詳細は、グローバル教育センターホームページにてご確認ください。



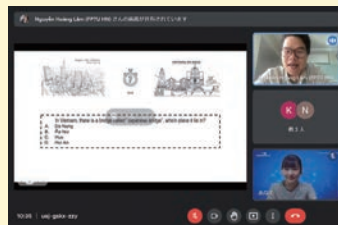
募集対象：本学の学部生および大学院生（ただし、研修生、研究生、通教生を除く）
応募方法：グローバル教育センターホームページに募集要項・応募用紙を掲載（夏季は4月末、春季は10月頃の掲載を予定）します。必要事項を記入の上、期限内に国際交流課までご提出ください。
派遣地域：ベトナム
派遣期間：4週間程度
参加費用（目安）：15～20万円（国内交通費、航空券、食費、宿泊費、海外旅行保険等）
グローバル教育センターホームページ：https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/volunteer_internship/

土屋 歩乃佳

所属学部：文学部英文学科 2年
参加プログラム：2022年度夏季国際インターンシップ（FTP大学・ベトナム）



私は約4週間、ベトナムのNPOで英語学習支援に関するマーケティング活動に従事しました。このプログラムを通して、国際的な仕事と自分自身への理解を深め、普段の大学生活では得られない実践的な知識やスキルを身につけ、成長と自信を感じることができました。参加前は、英語力やリモートでのコミュニケーションに不安がありましたが、いざ活動が始まると、不安どころか、言語や価値観、文化的背景の異なる人たちと交流する楽しさを実感し、充実した時間を過ごすことができました。勇気を出して参加して本当に良かったと思います。私が国際インターンシップから学んだ最も大切なことは、失敗を恐れず積極的に行動することです。そして、この学びは、自主性を重んじ、参加者に試行錯誤を繰り返させるこのプログラムだからこそ得られたものだと思います。皆さんも、この貴重な機会を大切に、ぜひ参加してみてください。



3

学内で体験できる国際プログラム

法政大学は留学以外にも、学内でできる国際交流のプログラムや語学力向上のためのプログラムが多く用意されています。これらを積極的に利用して留学前の準備や交流を進めましょう。



(1) ESOP (Exchange Students from Oversea Program) 交換留学生プログラム

・HUBs (ハブス：Hosei University Buddy system)

HUBsは、法政大学に入学する交換留学生とBuddy（バディ）を組み、留学生が在籍する間（半年または1年）彼らのサポートを行うボランティアです。学期開始前からメールやSNSを通じて日本での生活や授業についてアドバイスをし、学期を通じて出迎え、キャンパスツアー、イベント開催など様々なサポートを行います。交換留学生の留学全般に携わることができるHUBsでは日本にいながら世界各国からの留学生と交流を深めることができます。留学生の日本留学をかけがえのない思い出にする手助けができるのも、HUBsの魅力の一つです。



募集時期：2月、7月予定

募集方法：グローバル教育センターHP（ニュース・イベント情報）

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/hubs>

相澤 ひなた

人間環境学部人間環境学科1年



私は入学以前から、「大学生になったら留学生と友達になってみたい!」という思いがありましたが、学部内では留学生の人数が多くなく、交流する機会があまりありませんでした。そんな中HUBsの活動を知り、さまざまな国から来る留学生たちと交流できるこの活動にぜひ参加したいと思い、申し込みました。英語が好きではあるものの、そこまで話せないのが最初は不安でした。しかしコミュニケーションを積極的に取ろうという姿勢があれば言いたいことは相手に伝わり、言語が違くとも仲良くなれるんだということを知ることができました。また、留学生の皆さんと過ごしていると文化の違いを感じることも多いのですが、日本では当たり前のことでも、海を渡った先から見れば不思議な光景なんだな、ということを実感しました。HUBsでの活動を通して、コミュニケーションを取る上で大切なことを知ったり、外国語をもっと学びたいと思うようになったりして、とても貴重な良い経験となりました。

・交換留学生向けの英語での授業

海外協定大学から法政大学に交換留学している学生のために、日本の文学、社会、政治、経済、経営などのテーマの授業や演習を**英語**で実施しています。交換留学生だけでなく、一定の英語能力（TOEFL iBT®76等）を持った法政大学の学生も受講することができ、学部によっては卒業所要単位に算入することも可能です。授業はネイティブスピーカーを対象としたスピードで行われ、国内にいながら留学生と共に学ぶことができるため、**留学を考えている人に特におすすめです。**



募集時期：4月上旬、9月中旬

募集方法：グローバル教育センターHP（国際交流プログラム→学内でできる国際交流）

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/>

(2) 英語で行う授業／英語学習プログラム

・ERP（英語強化プログラム）

TOEFL iBT®45（PBT/ITP450相当）以上の英語力を備え、英語学習に対し高い意欲を持つ学生を対象としたプログラムです。全キャンパスで実施され、全ての学部生が、**無料**（ただし教材費がかかります）でこのプログラムを受講することができ、授業の空き時間を利用しながら、効率よく英語力のスキルアップを図ることができます。授業は、ネイティブスピーカーを中心とした講師による少人数・双方向の形態となっており、英語4技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）を強化し、実践的な英語力を身に付けることができます。学部によっては卒業所要単位に算入することも可能です。



募集時期：4月上旬（春学期）、9月下旬（秋学期）、1月中旬（スプリングセッション）

募集方法：グローバル教育センターHP（国際交流プログラム→学内でできる国際交流）

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

・グローバル・オープン科目

グローバル・オープン科目は、全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。主に6つの領域から構成されており、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。各領域内で、12単位以上取得した方には、「修了証」が発行されます。

6つの領域：①ビジネス&マネジメント、②ビジネス&エコノミクス、③国際関係、④社会と文化、⑤実践英語、⑥科学・技術

※開講科目の詳細は、グローバル教育センターHP（領域別グローバル・オープン科目一覧）をご確認ください。

・語学試験対策講座

英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®iBT講座およびIELTS講座、ERP受講を目指したTOEIC®ベーシック講座、国際展開をはかる企業への就職を目指す学生対象のTOEIC®インターミディエート講座を学内で開講します（有料）。

※2023年度はオンラインでの講座開催を予定しています。募集は春学期・秋学期の2回です。

(3) その他のプログラム

・多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。

・法政グローバルデイ

本学のスーパーグローバル大学等事業の一環として、学生が主体となり企画運営を行っています。新型コロナウイルス感染症流行の影響により、実地開催は3年ぶりとなりました。開催にあたっては定員制・事前予約制を取り入れ、企画進行にあたって十分な感染症対策を施した上で実施されました。セッション1では、「世界の子どもたちと貧困、キャリアプランのヒント」をテーマにゲストをお招きしてご講演いただき、セッション2では、学生が企画した「国際問題」、「SDGs」、「留学生」、「言語」、「表象文化」、5つのワークショップが実施され、当日は約140名の方にご参加いただきました。

2023年度は「Seize the Moment to Make a Change！変わるなら今でしょ！」をテーマに企画・準備を進めています。5月開催予定ですのでぜひご参加ください。



・短期日本語・文化プログラムボランティア

法政大学では、夏季（7月上旬）、冬季（1月下旬）に海外協定大学の学生を対象とした短期日本語プログラムを実施しています。毎回30～50名の留学生が、2週間に渡り日本語授業と日本文化体験を行います。法政大学の学生は、日本語授業及び文化活動をサポートするボランティア学生として参加します。ボランティア学生は、空港への出迎え、日本語授業や日本文化活動での見学やインタビューのサポートを行います。基本的に会話は日本語で行うため、外国語力に不安がある学生も参加することができ、国際交流体験の一步として最適です。



募集時期：5月下旬、12月上旬

募集方法：グローバル教育センターHP（ニュース・イベント情報）

<https://www.global.hosei.ac.jp/news/>

・海外大学生とのオンライン言語交換プログラム（Language Buddy Project）

海外協定校の学生と1対1のペアになり6週間以上にわたってオンラインで英語・日本語双方でのコミュニケーションを学ぶ言語交換プログラムです。春学期と秋学期の2ピリオド実施し、具体的な実施スケジュールや方法、会話のテーマ等は各ペアで相談して自由に決めることができます。交流活動にはスタッフは参加しないため、友人とオンラインで会うような気軽さで海外大学生との会話を楽しむことができます。英会話の能力を向上させたい方だけでなく、言語・文化の異なる友人を作りたい方や、将来海外留学に挑戦してみたい方にも適したプログラムです。

2022年度はアメリカ、イギリス、タイ、ドイツ、オーストリア、スイス、フランス、ロシア、メキシコ、オーストラリア、マレーシアなど計13カ国の海外大学と実施し、春学期・秋学期合わせて計約230ペア・490名の学生が参加しました。

募集時期：2月、9月（予定）

募集方法：グローバル教育センターHP（国際交流プログラム→学内でできる国際交流）

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/japanese-online-language-buddy-project-with-hosei-university-japan/>

・Gラウンジ

キャンパスにしながら、外国人留学生との交流を通じて様々な文化を学んだり、日常的なコミュニケーションの機会から、より実践的な語学力を身に付けることを目的とし、3キャンパスに「Gラウンジ（Global Lounge）」を設けています。外国人留学生との交流の場だけでなく、「英語学習アドバイザー」が1日3時間常駐し、英語で話してみたい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたい、など様々な希望に対応します。



またERP（英語強化プログラム）や語学試験対策講座、国際ボランティア・国際インターンシップの窓口となっています。

※Gラウンジ開室日は授業期間中の月・火・木・金、10：00～17：00となります。

各キャンパスGラウンジ

市ヶ谷 大内山校舎2階 多摩 総合棟地下1階 小金井 管理棟3階

・法政プロモーション・プロジェクト（Hosei Students×ESOP Students）

2022年度より、法政大学や日本へ留学したいと思う留学生を増やすことを目的に、法政大学の学生と交換留学生との共同プロジェクトとして「法政プロモーション・プロジェクト（Hosei Students × ESOP Students）」を立ち上げました。6名の学生メンバーは主にInstagramを利用して、法政大学や日本での留学生活などの情報を英語で海外に発信・PRしています。ぜひご覧ください。



Instagramアカウント

https://www.instagram.com/hosei_esop_tokyo/



HOSEI_ESOP_TOKYO

4

留学Q&A



留学の種類について

Q. 認定海外留学と休学留学の違いは何ですか？

いずれも、各自で留学先となる教育機関を選択し出願手続きを行うことは同じですが、以下の違いがあります。

留学制度	法政大学への手続き	留学期間	留学先
認定海外留学	5月（秋から留学開始）、12月（春から留学開始）に認定留学の申請	半年／1年間	学位授与権のある教育機関のみ。 1学期目を大学付属語学学校、2学期目を正規課程への留学も可※1
休学して留学	留学に関しては、無し。 所属学部にて休学の手続きを行う。	連続休学可能な 2年以内で自由に決定	学位授与権のある教育機関、語学学校、専門学校など、自由に選択可能。

[3年生の秋学期から1年間、アメリカの同じ大学の正規課程に留学した場合の概算費用の例]

	認定海外留学	休学留学	
授業料（留学先）	約 2,500,000	約 2,500,000	
現地費用（寮費）	約 1,600,000	約 1,600,000	
合 計	約 4,100,000	約 4,100,000	
法政からの奨学金	約 400,000	—	
留学費用	約 3,700,000	約 4,100,000	
3年次学費	約 1,000,000	約 550,000	（休学は春学期学費＋秋学期在籍料）
3年次学費（2回目）	—	約 550,000	（休学は春学期在籍料＋秋学期学費）
4年次学費	約 1,000,000	約 1,000,000	
学費合計	約 2,000,000	約 2,100,000	
留学～卒業までの総費用	約 5,700,000	約 6,200,000	

※留学先の授業料や現地費用は、留学先によって異なります。

※学費は文系学部の概算となります。

※1 語学留学のみは選択できません。

Q. 4年生の秋学期から1年間認定海外留学をしたいのですが…

4年生で認定海外留学をする場合、休学留学の方が総費用の面で利点が多いケースがあります。

[4年生で認定海外留学をする場合]

メリット	単位修得が可能。認定海外留学の奨学金を受給できる（400,000～900,000円）。
デメリット	留学・卒業時期により5年間分の学費を納入する必要がある。

認定海外留学の場合は単位を修得できるという利点がありますが、既に十分な単位を修得しており単位認定の必要がない場合は休学留学の方が費用をおさえられる場合があります。

ただし、世界ランキング200位以内の大学へ留学する場合や留学先・期間によっては認定留学の方がメリットがある場合があります。国際交流課までお気軽にご相談ください。

留学先の情報について

Q. 留学先の情報はどこで見ることができますか？

大学の留学プログラムに関する情報はグローバル教育センターHP、派遣留学の協定校情報は「各国別留学情報」（P.34参照）で確認できます。また、各キャンパスGラウンジでは過去の派遣留學生の報告書が閲覧できます。各学部の留学プログラムは学部HPをご覧ください。

認定・休学留学など、自己手配での留学に関する情報収集はグローバル教育センターで学内外の留学制度に関する資料を配布しているほか、グローバル教育センターWebサイト・Twitterでは随時学内外の留学情報を発信しています。5月実施の「グローバルデイ」、10月実施の「留学フェア」では外国政府系教育団体を招き、学内外の留学プログラムについて紹介しています。また、各国大使館Webサイトや日本学生支援機構海外留学支援サイトにも留学に関する情報が掲載されています。

Q. 留学先では、どのような授業を履修できますか？

留学先により異なります。基本的に正規留学（1年までの短期留学）の場合、多くの大学では一部の学部を除き全ての学部授業を履修することが可能です。自身の専門以外の授業を履修することもできますが、大学により語学レベルや受講生の専門分野の指定などの条件が設定され、履修が制限されていることもあります。また、詳細はグローバル教育センターや留学先大学のWebサイトを確認しましょう。

Q. 教職課程を履修していますが、留学できますか？

留学することは可能ですが、留学時期によっては必要な科目の履修や教育実習への参加が遅れることがあるため、4年間で教員免許状を取得できない可能性があります。教職課程を履修し、留学を希望される方は教職課程センターへ履修・留学スケジュールについてご相談ください。

派遣留学の選考について

Q. 派遣留学の選考はどのように行われますか？

派遣留学の選考は、日本語と受験言語での面接にて行われます。審査は、学業成績や語学力の高さだけでなく、面接を含めた総合評価にて行われます。面接では留学に対する目的やモチベーション、留学先での学習計画や将来のプランについてブラッシュアップし、話せるようにしておくことが重要です。

奨学金について

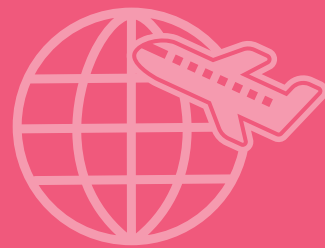
Q. 奨学金の情報はどこで得られますか？

学内の留学プログラム（派遣留学、認定海外留学、学部での留学制度等）を利用しての留学の場合は、各プログラムの募集要項等をご確認ください。

学内のプログラムを利用せずに留学する場合では、学部1・2年生を対象とした「ファースト・チャレンジ奨励金」を用意しています（P.26参照）。また、条件により学外機関の奨学金を利用して留学できることがあります。グローバル教育センターWebサイト「学外機関による留学制度・奨学金情報」ページに奨学金の情報を掲載しています。学外機関の奨学金は短期留学以外に、海外大学・大学院へ正規学生として留学するような長期留学者向け奨学金もあります。



留学関連窓口・ウェブサイト



(1) 法政大学の関連窓口

留学に関するご相談はグローバル教育センターで受け付けています。内容に応じ、下記のとおり担当が分かれています。ご相談は、オンライン（Zoom）でも受け付けています。ご希望の場合は、事前に相談希望日時をメールにてご連絡ください。メールアドレスは、下記担当一覧をご確認ください。
※学部独自の留学制度については、各学部の窓口にてお問い合わせください。

市ヶ谷キャンパス

国際交流課国際交流担当（大内山校舎2階）

取扱業務	①留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修 ②ESOP（交換留学生受入れプログラム）
受付時間	月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電話	03-3264-9662
E-mail	ic@hosei.ac.jp

国際交流課SA担当（大内山校舎2階）

取扱業務	市ヶ谷キャンパス学部のSAについて
受付時間	月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電話	03-3264-9408
E-mail	sapro@hosei.ac.jp

国際交流課グローバルプログラム担当（大内山校舎2階）

取扱業務	ERP（英語強化プログラム）、国際ボランティア、国際インターンシップ
受付時間	月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電話	03-3264-4088
E-mail	global@hosei.ac.jp

市ヶ谷Gラウンジ担当（大内山校舎2階）

受付時間	月・火・木・金 10：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
------	--

多摩キャンパス

（多摩）グローバル担当（総合棟地下1階）

取扱業務	留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間	月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電話	042-783-2130
E-mail	ic@hosei.ac.jp

多摩Gラウンジ担当（総合棟地下1階）

取扱業務	ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間	月・火・木・金 10：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電話	042-783-3018

小金井キャンパス

（小金井）国際交流支援室（管理棟3階）

取扱業務	留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間	月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電話	042-387-7018
E-mail	ic@hosei.ac.jp

小金井Gラウンジ担当（管理棟3階）

取扱業務	ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間	月・火・木・金 10：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電話	042-387-6281

(2) 関連ウェブサイト

法政大学グローバル教育センターWebサイト

グローバル教育センターではWebサイトやSNSで留学に関する情報発信をしています。Twitter・Facebookでは配信限定の情報も発信していますので、ぜひフォローしてください。

■ 留学に関する情報収集はまずここから！

公式ホームページ



Twitter



Instagram



SAプログラムFacebook



■ グローバル教育センターWebサイトで役立つ情報ページ

派遣留学制度ページ



各国別留学情報



学外機関による
留学制度・奨学金情報



長期留学派遣制度
(海外大学院への留学)



学外の留学制度・奨学金などに関する情報

留学者向けの奨学金情報や、留学先国・地域の安全情報は下記Webサイトからご確認ください。

日本学生支援機構
海外留学支援サイト



外務省海外安全HP



法政大学 大学院国際交流プログラム

法政大学の大学院に進学した場合の留学制度については、下記WEBサイトからご確認ください。

